

自由連合

Libera Federacio

1970

3月20日

N.ro. 13.

姫路市かめ山 354
向井方

自由連合社

定價 30 円
二 共

振替口座
大阪.1264番

(通信・連絡)

④ ぜひ、あなたもアンケートを送って下さい。せめて一どは、

なぞ自由連合が

この「自由連合」は、解散した日本アナキスト連盟の残滓紙「自由連合」を継承したものではない。アナキスト連盟の体質はもとよりアナキズムからさえも全く自由なものとして出発した。現在の自由の主張のなかにアナキズム的なものがあるとしても、それは自然に形成されてきた結

果であつて、自由連
はアナキズムに何
らの拘束も受けて
いない。

しかし自由連
の名乗る限り
かならず、アナキ
ストの如くアナキ
ズム紙という誤解
や懸念を与えるだ
ろう。それは、こ
の十年間の自連紙
上で正してきたつ
もりである。

統一より連合
を」と對する自連
や一号の卷頭論文
で自連の立場を理
説つけたように、
自連紙はぼくらの
考えを表明するも
っとも直截なもの
として「自由連合
」としか名付けよう
のなり現情況の必
要として生みれた。

ぼく達はこの新

間を媒介として、アナキストをも含んだ広範な反体制運動の自由連合をめざしている。運動と運動がそれそれがかく平等な形で、行動の次えでの自由なる連合を確立すること、それがなによりも現在の反体制運動、反権力闘争を闘いぬぐための必須の条件だと考えるからだ。自連紙は 共闘する諸クルー、個人、個人の真なる自由連合を具現化する契機をつくり出すためにまず紙面においてそれを実現してきた。

自連は開かれています

白連がやったこと
やれなかったこと
やろうとしていること

〇〇〇〇〇〇——一年を経た「自由連合」——〇〇〇〇〇〇

自連紙は、内外の親交ある諸組
タルフ、佯人の动向を情況との廣
連に於いてとらえたニユース紙であ
る。それは、情報・資料の提供、諸
タルフや組の意見や行動をその
まゝ伝ふる作業によつて、自連社員
へ自覺的讀者として、の未知の仲間
をふやし、社員の自己喚起的作業の
質的量的深化と、自由連合的な相互
間の「自己形成」を手助ける。それ

によつて、自連自身及び時に流動的に変貌しつつ、自らの姿勢を明らかにしていくだろう。

編集にあつて編集者による記事の内容に関するコメントロールは原則的に行つていない。へただし編集技術面・スペース問題による制約、広い選択はある。だから編集者と意見の異なる立場の記事も載せる場合もあるのだ、それだけをとりあげて自連の性格を判断してもらつても困る。

自連紙は、とくに一般ジャーナリズムが取り上げることをしないものや小アールスの活動、地方にかくれてゐる問題等を取りあげ、無名の仲間達を対象としたミニコミ的立場にある。八伝言板では、各種のよびかけ、お知らせ、案内、行事、講演会、研究会、集会の予告、その内容と結果、出版物の案内と内容紹介などをしてきた。

自連社の交流クルースや社員数は
 充足当初と比べて飛躍的に増えたが
 ニエース・ソースはまだまだ微少で
 限られてゐる。当然それは記事や内
 容に反映し、貧弱にならざるをえな
 い。それを克服するためにも、自連
 は全員の「未知の社員（読者）」に
 期待する。それを正すのは、読者の
 積極的な編集への参予以外にないか

■ 白連は政治新聞

らだ。自己の周辺の印刷物、ビラ、ポスター、情報をとしとし自運社に送つて下さい。さらに書翰や論文を投稿して下さい。自運社と自運紙はだれもにつねにきびしく、開かれ、たものとしてあります。およそ自運に読むだけの読者など重要でなく、みんなが自運を創ることによって、みんなの自運にしなければならぬ。

参考 自運の発行部数は現在千六百部であり、定期購読者は約八百人である。そのうち60人ほどが本部以上の購読をしている。おそろくなり刷りのミニコミ紙で千六百部の発行部数のあるものは例がないだろう。

自運の特徴の一つは毎号に同封するアンケートである。これは編集部と読者と結ぶ貴重なパイプとなっている。このアンケートの回収数が毎号少くとも50部前後あるというのは自運社の誇りであり、編集者にとつて大きな支えとなっている。

アンケートの他にも自運社には、約知通近くの機関紙類の送付、向い合わせその他の郵便物が送られてきている。向井や尾南伯人を通じてではあるが、外口からの印刷物も相当部数ある。自運社では、これらのものを翻訳・紹介してくれる人はいつても求めていない。

■自連は政治新聞

といつても、政治セクトの機関紙とは全く違つてゐるのは、紙面を見れば一目瞭然である。ここであう政治とは、われわれをとりまく現実的政治情況のことである。

「自連」はつねに情況にコミットした姿勢においてつくられねばならない。情況と關係のないところでの「自由連合」の具現などおぼろげなセンズだ。情況に臨場し、主体的に参与した人達の手によるルポルタージユが、自連の骨を和成してきた理由もここにある。アンケートに必ずとりあげられるのもこのルポ記事である。

自連では、情況の理論的分析もするが、それよりも情況を一步でも切り拓く具体的行動提起に心がけてゐる。

(次頁につづく)

(次頁につづく)

最近の「ペーパー・パブリケーター」共同体、「救援の思想」など、その時々、状況の重なり、自らを叩く主体として、状況を主体的に（しばしば身をさる思いで）受けとめた結果、送られたテーマであつた。自連の編集者、読者に必須の条件は、つねに自分を状況にコミットさせていなければ、すぐに方向オンチに陥つてしまひ、自連が遠いものになってしまう。

自連は月刊紙であることもあつて、原理論的な理論の展開に多くのページをさけなかつた。直接的に理論をとりあひなふり、具体的な向題の中からなげなく引き出される理論こそ必要な理論である。自連は、アクチュアルな向題に対してアクチュアルに対応しうる運動を創出する手助けをする新聞である。

参考 自連入主張ノ綱（ノ）

12号ノ索引

※統一でなく連合を 向井孝

※暴力闘争か 向井孝

※行動、自己の 向井孝

※内と外への闘争 向井孝

※視えるもの、視えないもの 小川信

※不可視のものとの闘い 小川信

※戦争の主体としての 森下紀夫

※国家を向へ 向井孝

※市民の叛乱ノその意味 向井孝

※70年アンボ 向井孝

※11月闘争への視角 向井孝

※何のために？ 山部嘉孝

※10・11・12……6月 向井孝

※10・21の意味したもの 向井孝

※救援とは何か 尾関弘

※いま！ここで！気付くこと！ 尾関弘

※今日に於る 尾関弘

※共同体の意味 尾関弘

※ペーパー・パブリケーターのこと！ 尾関弘

※非暴力直接行動として 小川信

※（近く自連の主張）論文を集大成した小冊子を、自連双書として出す予定でいる！

まずカンパで示す連帯の証し

自連の経済的採算は、当初の予想を大きくはすれてかなり（不）思議なほど（も）もちこたえてゐる。参考 自連収支は下段のとおりである。

		収入	支出	残高
(44)	2/10~3/10	9,565	12,970	△3,405
	3/10~4/10	29,530	25,110	4,420
	4/10~5/10	21,615	21,435	180
	5/10~6/10	24,115	25,315	△1,200
	6/10~7/10	19,245	26,020	△6,775
	7/10~8/10	29,690	19,660	10,030
	8/10~9/10	22,010	28,360	△6,350
	9/10~10/10	16,545	26,965	△10,420
	10/10~11/10	22,665	29,500	△6,835
	11/10~12/10	12,510	38,595	△26,085
	12/10~1/11	53,483	28,875	24,608
(45)	1/11~2/11	38,420	40,900	△2,480
(44)	2/11~3/11	29,393	323,705	△26,362

自連収支表

自連の紙代納入率は約60%である。多くの人は紙代としてよりもカンパとして送金してくれり。その方が会計助かり、自連的であるように思う。毎月千円を必ず送ってくれり人、一度に一万円を送ってくれり人、30円づつきちんと送ってくれり人、皆が必死である。ぼくらもありつたけの金を出し、足らぬ金は足るようにしてでも発行を維持している。読者から最低の紙代をふんどくり、ふんどくられることが、ぼくらの連帯のあかしである。でも良いではないかと思ふ。

自連紙をメディアとして、真に運動上の自由連合を創り出そうという意欲にもえにものだけが、紙代を出すだけだ。紙代を出すのは、奥は自分の意志表明と自己確認の形式なのである。

入金むなく、アンケートも送り返してこない読者は、予告してから一ヶ月で送附を打ち切る。読者の紹介による送附先も同様である。新しい読者をふやすことに熱心であると共に、中途半端な読者に大胆であらうと思ふ。読者名簿がほとんど書き変えられりことは、運動が活発である証拠でもある。

しりし一方、自連を大部とり集めて、集金や校内で販売したり、研究や宣伝材料に使おうというものに理解がないわけではない。実質さえ払ってもらえれば、あとは活動資金にしてもらつてもよい。

とにかく、最低、自分の紙代は納入してもらいたい。ぼく達も精一杯やつてゐるのだから。

自連自身の厳肅なる総括

①自連はつねに流動的に変貌し、不定形の自由奔放なものである。といかに云つたところで、現在の自連が紙面だてのマンネリ化に陥りつゝあるのはたしかだ。忙しさにまぎれて編集の定型化に安易さをおぼえてしまつてゐる。

マンネリ化を打開するには、①新しい自連社員（読者と呼びたくな）の自連への積極的介入（編集スタッフもそろそろ交代していい時期なのだ）。②自連自身がもう一度深く状況の中に立ち戻つて、今、何を果さねばならぬのかを鋭く問い返すことだと思ふ。

③この一年間で自連の読者は倍増した。しかし、自連社と読者、読者同志の距離は縮つただろうか。多くの機関紙が送られてくるが、彼らの主張を充分理解しただろうか。自由連合がけしきばかりで、実際の自由連合はどこまで進んだのか。そこで提案する。諸君、未知の友を求めて全口を歩き回ろう。脚による自由連合をまず確立しよう。実際に会つてみて、話し合えば、共同行動の計画などいふんままとよりやすくなる。

④自連社は新聞を毎月出すだけのことしかできなかつた。自連がもう一步発展するためには、自連を出すこと、売ること、記事を集めて書くことの総過程がもっと運動として展開されねばならない。

固有名詞としての自連ではなく、集合名詞としての自由連合が真に意味をなすよう、連合の場を状況の中に創出していくことをしなければならぬ。

⑤最近、高校生・中学生の自連読者が急増してゐるが、彼らの運動が孤立化・先細化しないよう、彼らの日常性に合った向題意識と、彼らの言語と思考方法をもつて力強く連合を指導しようとするのではなく、彼らと対等の立場で、彼らの思考と運動の自然成長を惹起するような材料を提供し続けねばならない。自連は彼らにこそ多大の期待をよせてゐる。

またよく似た思考形態をもつていて同地域方に住むが互いが未知である人々に、交流と連合の場を与えらる仕事、そのための地域読者会や研究会活動をもつて盛んにする仕事も自連が今後果さねばならぬ重要な役割である。（尾関弘）

自由連合の
アニフェスト

(Ⅱ)

仲間の仲間の報告

★旭川R・Kマイナース20前
後の気温の中で運動もとすれば
凍りかちです。2月11日は久しぶり
にデモをやりました。旭川名物(?)雪祭
の会場におもかけ、紀元節粉砕の
集会を行いました。警備の連中との
向に面会がはじまりまして、仲々
楽しいことでした。

★(輪島H・H)「切地」輪島
でも何とかなければ、という
動きがでています。ミニコミを校
として反戦を志向する自立した人
向クルーを造り始めました。い
ずれ街頭へも出ていきます。

★(大阪Y・Y)1月27日夜
大阪で二人の市民が警官に故なく
暴行を受けたという事件がありま
した。二人は恐喝容疑で交番に引
っぱられ、数人の(中)と称する警官
に警棒、素手で殴られる等の暴行
をうけました。一人がまたま平
連の連絡先を書いた紙をもって
いたため「デモで見たことがある」
等のインネンをつけられ、さらに
もう一人がコートの下にバジャマ
を着ていたため、「赤防法の疑い
がある」と言われ、バジャマのま
まで警棒でつかれながら付近を
一時向あきり引きまわされた。二
人は救済と連絡して告訴する予定
です。

★(岡山K・S)2月9日岡山
ベ平連定例デモ。岡山駅前を六時
に出発。参加人員出発時22名(私
服がトランシーバーで連絡をそう
とっていたのでまちがいにし、
自分が参加している事に意味があ
り、人員はさほど、(へそ)で
もないかしら。

★(埼玉M・O)南争報告をす
る。①、「あいうえお一座」大宮
でフォーク集会。なにしろ季節が
季節でございますのでギター弾く
手がうごかなくなるし、人の集り
も悪くなるし。②、1月25日
埼玉県アナ高連結成の予定。組織
というよりは連合という感じにな
ればよいと思います。③、建国記

急の日、午前中、各高校に於いて同
盟登校を行った後、革命の誓として
浦高を解放せよのストローガンの下
正午に県立浦高に集合、が、学校
当局は前日の職員会議の決議通り、
各校教師約百名が集りロッキアウ
④約百名が付近に待機、押し向客の
未、校門前の抗議集会から北浦和駅
まで無届けデモの後、東京明治公園
へ。

★(静岡M・O)1月18日浜松南
基地へデモをかけた。出発のとき
に⑤の規制をうけ、ろくすぼジグ
ザグもできない状態が続いた。それ
に前をノロノロ走る警備指揮車が面
白くない。そこで本旗で、上に
のつてスピーカーでなっている連
中の目かくしをして、それとばかり
前に走り出さず思いきりジグザグを
やらした。さて、基地についてみ
ると鉄カブトをかぶり訓練用の木銃
をもった隊員がこちらをにらみすえ
ている。こっちは基地の金網に旗を
立てインターを歌って「ナイキ」と
リつけやめろ、アンプをファンサイ
ノミをシュアレヒコール。というに
まめ、オリドックスな手いに終始
した。

★(飯塚S・Y)12月27日のデモ
では参加者の数ははるかにうまわ
る私服に威圧され、あわててタオル
とヘルメットを着用、そのため自ら
市民の参加を阻む結果となった。小
さな街でなので素顔でデモに出るに
は高校生など相当の覚悟が必要で
かといって顔をかくすと市民から敬
遠されるし。

★(東京I・K)反国家デーには
横須賀へ行き、「自衛隊通信」20枚
を防大生、海上、陸上自衛官に配り
ました。(へも)とまきたかったのだ
が、一枚五円で「半二、半三の小面
を委員会」から買うので経済的に限
界があった。それと感情的な対応
をするものがいたが、一般的に余裕
をもっており、全く動じない。なか
には「さつき」にだまされたとい
はく奴隷らしい。トラフルを起す
なれの命令があったのか、一時間ぐ
らいに「交差」の腕章を
付けに警官がウロウロするようにな
った。

★(福岡Y・O)どこでもなの
し、秋の連続南争で資金が枯
竭しています。そこで、資金づくり
むかえて、ヘアナキズムナヒコーマ
ニズムなる資料集を作成したいと
考えています。現在、文化的アナキ

ズムとでも呼ばれる風潮があります。
広く、ヒューマニズムを捕えてみる。
そのような作業の中から、戦術的ヒ
ューマニズムが回復されるのではない
でしょうか。

★(東京K・K)我々共産党A
Hは、東京讃岐ベ平連を併呑して、
一月帰郷闘争を瀬戸架橋阻止、番
州工場化粉砕の新しいストローガン
掲げて闘います。

★(松山H・R)愛媛大生共闘は
教養館を封鎖決行中ですが、11月斗
争で20名ほどが逮捕され、法文での
内ゲバで多数の負傷者がでたり、さ
みしい状態です。しかし、学内には
ヘルメットがまだ70個ほど残ってい
ます。

★(仙台H・E)僕は先の総選挙
を次の意味で拒否しました。自治管
理連合社会を築くには、民衆が科学
を享受すること、投票することは政
治に対する科学的思考を放棄し、政
党もしくは議会への宗教的迷信に墮
落し、思考を停止することになる。
棄権することは、権力に敬意を払
政体と、民衆を支配する政党の存在
性を人民の立場から否定する確信に
支えられた積極的行動だ。科学的確
信にはつきものの発展的懐疑は、僕
の思考の深化をむかえるのだ。

★(大阪T・F)「歌おうか？」
同志の一人が言い、寒さに凍った留
置場の空間に、小さなハワルシャワ
労働歌のメロディが流れはじめ、
ヒステリックに怒鳴り散らす看守の
耳には房に反響する声の所在をつき
とめることができない。それは一瞬
の勝利だった。しかし再び静寂が房
を支配したとき、何故かより一層の
疲れと寒さがはくたうを襲うであ
うことを不意にはくは予感していた。
「終わった」と誰ともなくつぶやき
が聞こえ、その瞬間誰の心にも、確
実に新しい70年代の斗争に入っ
とが告げられていた。

読者からの便りなど

年（埼玉・〇）やたら古典を
 献、原典等を讀んでいて国外の現
 状に接する機会のなつにばくにと
 って、「ヨロツバ、アナ」

！！
 ☆（京都・エ）自傳を読んで新
 ししい一つの展望が開けにような感じ
 を持ちました。又今まで心情的アサ
 だと思つていに自分が本当は何物で
 あるのかと向われていうように思ひ
 ます。

救援センター No.7
 市民の会 千葉救援ニース No.1 千葉
 葉救援連絡会 金剛石 937 新左
 翼 52 号 統一 (2.25) レシユメ 神
 ヲアナ研 MILITREZISTO
 Dar Kriegsdienstgegner de Resist
 ant à la Guerre ; (1516) (17.18)